

令和5年度事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、コロナ禍からの県民生活や社会経済活動の正常化が進んだ年となった。

しかし、燃料や電力等エネルギー価格の高騰は、我々産業廃棄物業界に大きな打撃を与え続けており、加えて人件費の上昇や2024年問題など、深刻な課題が次々と現れた。

令和6年能登半島地震で発生した大量の災害廃棄物の処理は依然として滞っており、復興・復旧の妨げとなっている。

こうした状況の中、当協会では、非営利型一般社団法人として定款に定める次の5つの事業で、調査研究、研修及び普及啓発並びに人材育成等に取り組んだ。

具体的には、持続可能な循環型社会を構築するために産業廃棄物処理業界が廃棄物の適正処理と再資源化等に取り組み「環境産業」としてより一層発展することが重要であるとの認識の下、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進による業務効率化やグリーントランスフォーメーション（GX）による地球環境問題への貢献及びサーキュラーエコノミーの推進という大きな目標を達成するために、各種事業に取り組んだ。

令和5年6月30日に関東地域協議会において、「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互支援に関する協定」を締結し、大災害時の広域的な応援体制を整えた。

さらに、8月には当協会8つ目の事業委員会として「災害対応事業委員会」を新設し、災害廃棄物処理体制を強化した。

また、3月には、さいたま環境整備事業推進積立金（けやき積立金）を活用し、坂戸市において放置事案改善事業を実施した。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに相談、指導助言等に関する事業

廃棄物処理法の運用、技術、業界情報を把握するとともに、マニフェストの普及促進、会員・排出事業者等からの相談等に対応した。また、産業廃棄物指導課との意見交換会や4地区懇談会の開催による行政との信頼関係の醸成、通知・会報けやき・協会だより・けやきニュース・ホームページによる適切な情報提供に努めた。

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成に関する事業

法令の改正、優良処理業者の育成などの課題に対応するための研修・講習の充実に努めた。重点事業として労働災害防止のためのパトロールや労働安全衛生大会を開催した。また、令和2年度から始めたオンライン方式による事業の充実に

取り組み、県・協会共催産業廃棄物講習会、実務担当者研修会などをオンライン方式で開催した。さらに、埼玉県と連携して3S運動の推進などを実施した。

人材育成については、青年部会・女性部会の研修・交流事業、新入社員の定着等を目的とした「環境産業合同入社式」を県と共同開催した。

III 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

さいたま環境整備事業推進積立金（けやき積立金）の保全を図った。本年度は、3月に坂戸市森戸の放置事案改善事業を実施した。

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

令和5年6月30日に関東地域協議会において、「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互支援に関する協定」を締結し、大災害時の広域的な応援体制を整えた。

また、8月には当協会8つ目の事業委員会として「災害対応事業委員会」を新設し、災害廃棄物処理体制を強化した。

V 地方公共団体等からの受託事業

県外産業廃棄物事前協議制度に係る受付事務並びに産業廃棄物処理業者、排出事業者、処理業新規採用者及び行政担当者を対象とした実務担当者研修会業務（7コース）を県から受託し、オンラインで実施した。

令和6年3月31日現在の協会会員数は、正会員391社（対前年度1社減）、賛助会員55社（対前年度1社増）、計446社である。

I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに相談、指導助言等に関する事業

(1) 調査研究

産業廃棄物の適正処理と再資源化などに関する法令、技術、業界情報の収集を行うとともに、県と連携した研究を進めた。

1) 県外廃棄物処理施設等視察研修

令和5年12月4日 富山環境整備(株) 富山県富山市

2) 太陽電池モジュールのリサイクル協議会(県設置)

第1回 令和6年3月15日

(2) マニフェスト制度の普及促進

1) 令和5年度マニフェスト頒布実績

連合会マニフェスト	213,800部	(令和4年度実績 232,500部)
建設系マニフェスト	175,600部	(令和4年度実績 212,800部)
合計	389,400部	(令和4年度実績 445,300部)

(3) 相談指導・普及啓発

1) 廃棄物処理に関する処理業者・排出事業者・県民からの相談等

会員や排出事業者、県民から642件の相談があり適切に対応した。

特に会員等の処理業者からの相談には、行政との連携のもと適切な指導・助言に努めた。また、排出事業者等からの相談には、会員の処理事業者を紹介するなど適正処理の促進に努めた。

2) 会報「けやき」・協会だより・「けやき」ニュースの発行

啓発事業としては、法令の運用、事故・災害防止に関する通知等のほか、会報「けやき」、「協会だより」の隔月発行。また、迅速に情報提供するために「メール配信サービス(けやきニュース)」を実施した。

- ・けやき No. 91 令和5年7月発行 550部(令和4年度実績 550部)
- ・けやき No. 92 令和6年1月発行 550部(令和4年度実績 550部)
- ・協会だより 令和4年4月、6月、8月、10月、12月発行 各500部
- ・けやきニュース 33回配信(205アドレス)

3) 許可満了期限に関する事前通知

103通(令和4年度実績 144通)

4) 事故防止通知等

令和5年12月に年末・年始における事故・災害防止の徹底について通知した。

(4) 産業廃棄物適正処理の推進

1) 労働安全衛生の推進

重点事業の労働安全衛生対策については、協会労働災害防止計画に基づき、労働安全衛生大会・研修会を開催するとともに、現況調査、ポスターの作成・配布を行い、労働安全標語、ヒヤリハット事例を募集した。また、安全衛生パトロールを引き続き実施した。

① 全国安全週間及び衛生週間に向けて、会員等にポスター・労働局通知配布
(令和5年6月、9月)

② 労働安全衛生大会(参加者数90名)

開催 令和6年3月12日

講演1 埼玉労働局

講演2 ミドリ安全(株)

事例発表 (株)杉浦土木

③ 会員企業に対する事故防止通知【前掲】

④ 安全衛生標語、ヒヤリハットの募集

・標語応募 99作品(令和4年度実績 120作品)

・ヒヤリハット事例 18件(令和3年度実績 25件)

⑤ 労働安全衛生関係表彰

・安全優良職長表彰 3名

松橋和夫(野崎興業(株))

新井 進(化研興業(株))

星 英行(東武商事(株))

・安全優良事業所表彰 1社

化研興業(株)

⑥ 安全衛生パトロール 対象:会員企業1社

(株)杉浦土木

2) 収集運搬業研修会の開催(参加者数27名)

開催 令和5年12月14日

講演 全国経友会・保険サービスシステムHD(株)

3) 事業系・建設系廃棄物適正処理の推進

① 環境保全懇談会(埼玉県環境保全連絡協議会、行政との意見交換会)

開催 令和6年3月5日

内容 埼玉県のカーボンニュートラルについて他

講師 埼玉県温暖化対策課他

② 建設系廃棄物処理関係懇談会(参加者数32名)

開催 令和6年2月7日

内容 2024年問題と建設廃棄物業界の課題と対策

講師 建設廃棄物協同組合 専務理事 谷口敏幸 氏

4) 地区懇談会(県、政令市と協会の意見交換会)

当協会独自の事業としての地区懇談会を、県産業廃棄物指導課と各環境管理事務所、各政令市の支援のもと開催し、行政担当者と会員との意見交換を通じて信頼関係の醸成を図った。

- ① 北部・秩父地区 10月16日 熊谷文化創造館 出席30名
- ② 東部・越谷地区 10月26日 春日部市民文化会館 出席22名
- ③ 中央地区 11月28日 さいたま共済会館 出席20名
- ④ 西部・東松山地区 12月11日 ウェスタ川越 出席40名

合計 112名 (令和4年度実績152名)

5) 3S運動の推進

① 3S運動推進協議会

令和5年 7月20日 オンライン開催

令和5年12月21日 埼玉会館

令和6年 2月13日 埼玉会館

③ 3S運動優秀賞知事表彰受賞 応募 延べ21社

県と連携して「産業廃棄物処理業者3S運動」(スマイル・セイケツ・スタイル)を推進し、会員会社等における優れた取組に対しては、県知事表彰が贈呈された。

トップランナー賞 (株)タカヤマ

最優秀賞 スマイル賞 新和環境(株)

セイケツ賞 (株)クリーンテックサーマル

スタイル賞 彩源(株)

奨励賞 スマイル賞 (株)ユーパーツ、化研興業(株)

セイケツ賞 リバー(株)

スタイル賞 日本ウエスト関東(株)

特別賞 スマイル賞 東武環境センター(株)

セイケツ賞 鹿島道路(株)、第一カッター興業(株)

スタイル賞 (株)ダイトク、コスモ理研(株)

6) 事業委員会

協会の各事業については、各担当事業委員会において企画、検討して事業を進めた。

① 調査研修事業委員会 (石坂典子委員長)

視察研修会の実施

開催 令和5年12月4日

視察先 富山環境整備(株)(富山県富山市)

参加者数 25名

② 労働安全体制整備事業委員会 (山口徹委員長)

労働安全衛生パトロールの実施

・開催 令和6年1月23日

- ・視察先 (株)杉浦土木
参加者数 8名
労働安全衛生大会の開催
 - ・開催 令和6年3月12日
 - ・場所 埼玉県県民健康センター
 - ・参加者数 90名
- ③ 収集運搬活性化事業委員会（関根執委員長）
収集運搬業研修会の開催
- ・開催 令和5年12月14日
 - 内容 「2024年問題対策」今すぐ取り組む時間管理・給与改革・DX推進
 - 講師 全国経友会/保険サービスシステムHD(株)
 - 参加者数 27名
- ④ 普及指導事業委員会（野寺貴之委員長）
地区懇談会の開催【前掲】
会報けやき事業所訪問
- ・開催 令和5年11月30日
 - ・場所 亀井産業(株)
- ⑤ 事業系廃棄物処理推進事業委員会（福田寛栄委員長）
- ・環境保全懇談会（埼玉県環境保全連絡協議会、行政との意見交換会）
開催 令和6年3月5日
内容 埼玉県のカーボンニュートラルについて他
講師 埼玉県温暖化対策課他
- ⑥ 建設系廃棄物処理推進事業委員会（熊倉毅委員長）
- ・建設系廃棄物処理関係懇談会（参加者数32名）
開催 令和6年2月7日
内容 2024年問題と建設廃棄物業界の課題と対策
講師 建設廃棄物協同組合 専務理事 谷口敏幸 氏
- ⑦ 災害対応事業委員会（熊倉毅委員長）
- ・開催 令和5年9月12日 Zoom ミーティング
 - ・議事 災害対応事業委員会、県との災害支援協定、関東地域協議会の相互応援協定、災害廃棄物の法的整理
 - ・令和5年度災害廃棄物に係る研修会（県資源循環推進課主催）
第1回
開催 令和5年8月24日 熊谷市文化創造館
参加者 当協会員27名（全体77名）
第2回
開催 令和5年8月27日 埼玉県県民健康センター
参加者 当協会員31名（全体73名）
- ⑧ さいたま環境整備事業積立金運営委員会（亀井寿之委員長）
第1回

- ・開催 令和6年2月27日
- ・議事 坂戸市森戸地内の放置事案改善事業について
- ⑨ さいたま環境整備事業関係業者選定委員会（福田寛栄委員長）
 - 第1回
 - ・開催 令和6年2月27日
 - ・議事 坂戸市森戸地内の放置事案改善事業について
 - 第2回（書面開催）
 - ・開催 令和6年3月18日
 - ・議事 坂戸市森戸地内の放置事案改善事業について

7) 関係団体・行政との会議・交流等

- ① 協会令和6年賀詞交歓会(令和6年1月17日)
- ② 公益社団法人全国産業資源循環連合会関係
 - ・第13回定時総会(令和5年6月16日)
 - ・令和6年賀詞交歓会(令和6年1月12日)
 - ・産業廃棄物と環境を考える全国大会（令和5年11月10日）
 - ・全国正会員事務責任者会議
 - 第1回：令和5年8月24日（オンライン開催）
 - 第2回：令和6年2月16日（オンライン開催）
- ③ 関東地域協議会関係
 - ・第70回協議会 令和5年4月18日（東京開催）
 - ・第71回協議会 令和5年11月16日（千葉県開催）
 - ・災害相互応援協定調印式 令和5年 6月30日（東京開催）
 - ・事務責任者会議 令和5年10月19日（オンライン開催）
令和6年 3月19日（オンライン開催）
 - ・災害廃棄物委員会 令和5年 4月10日（オンライン開催）
令和5年10月10日（オンライン開催）
令和5年11月 7日（東京開催）
令和6年 2月21日（オンライン開催）
- ④ 関係団体会議
 - ・埼玉県環境保全連絡協議会 【前掲】
 - ・埼玉県不正軽油撲滅対策協議会 書面開催
 - ・埼玉県フロン回収・処理推進協議会 書面開催

II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成に関する事業

(1) 県との共催の講習会

適正処理講習会（県・協会共催）（オンライン配信）

配信期間 令和5年11月13日から12月28日

視聴回数 879回

講演1 ここまでわかる廃棄物処理法の基礎知識

講師 BUN環境課題研修事務所 主宰 長岡文明 氏

講演2 サーキュラーエコノミー時代の廃棄物処理について～資源循環を進めるための再生品の品質確保、情報公開など～

講師 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

調査認証チーム 部長 山脇 敦 氏

講演3 プラスチック類の資源循環利用の現状と将来展望

講師 一般社団法人産業環境管理協会

CLOMA事務局 技術統括 柳田康一 氏

おしらせ 3S運動の取組について 他

(2) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

オンライン講義または対面講義と会場試験を組み合わせた講習会を行った。

1) 新規／収集運搬課程

令和5年5月25日、6月14日、7月13日、8月31日～9月1日（対面形式）、11月2日、22日、12月7日、令和6年1月26日、2月21日

延べ9回 受講者582名

2) 新規／特管収集運搬課程

令和5年6月13日

延べ1回 受講者70名

3) 新規・処分課程・収集運搬（同時）

令和5年5月26日、11月21日

延べ2回 受講者114名

4) 特管新規・処分課程・収集運搬（同時）

今年度開催なし

5) 更新／収集運搬課程

令和5年5月25日、6月13日、15日、7月12日、13日、14日、11月1日（対面形式）、21日、12月7日、8日、令和6年1月26日、2月21日、22日

延べ13回 受講者918名

- 6) 更新／処分課程・収集運搬（同時）
 令和5年10月5日～6日、令和6年1月25日
 延べ2回 受講者111名
- 7) 特別管理産業廃棄物管理責任者
 令和5年5月26日、6月14日、15日、7月12日、14日、11月2日、22日、12月8日、令和6年1月25日、2月22日
 延べ10回 受講者 647名
 合計 延べ37回 受講者2,442名
 (令和4年度実績 延べ44回 受講者2,270名)

(3) 廃棄物処理業に係る人材育成

1) 青年部会(齊藤康祐部会長)

法令・技術面に習熟した人材の育成、後継者の育成等を図るため、青年部会は、勉強会、施設研修会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会、講習会などに主体的に協力した。

- ・総会 令和5年5月12日 埼玉会館
 勉強会 業界におけるAI導入の有効性
 講師：ファンファーレ(株)岡部貴史 氏
- ・環境産業合同入社式・名刺交換会（名刺交換会の運営）
 令和5年5月31日 さいたま共済会館 53名参加
- ・全体会議 毎月（会場とリモートでのハイブリッド形式）
- ・県庁オープンデー（県産業廃棄物指導課と協力してブースを出展）
 令和5年11月14日 埼玉県庁
 参加者 約3,000名（テント側、パッカー車展示側合算）、産業廃棄物指導課アンケート回答数（583件）
 配布物 カトラリーセット（600セット）缶バッチ・ぬり絵（400個）
 チラシ配布（600枚）
- ・施設研修会
 令和5年12月8日～9日 西部サービス(株)神戸工場、大本リサイクルセンター
 参加者 8名
- ・関東ブロック会議 随時（会場とリモートでのハイブリッド形式）
- ・全国青年部会長会議 令和6年2月8日（鳥取県米子市）

2) 女性部会(栃原綾子部会長)

女性の視点から業界の活性化に寄与するという趣旨から、女性部会では、勉強会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会、講習会などに主体的に協力した。

- ・総会 令和5年3月31日 書面決議
- ・施設研修会 令和5年4月21日 吉川油脂(株)

令和6年3月15日 (株)リーテム茨城

・県庁オープンデー【前掲】

・女性部会つどい 令和5年11月10日

講演会「多様な人材が働きやすい安全な職場づくり」

3) 環境産業合同入社式 (県・協会共催) 【前掲】

4) 環境産業合同研修会 【後掲】

5) 表彰事業

① 循環型社会形成推進功労者等表彰受賞者 (以下敬称略)

産業廃棄物関係事業功労者等環境大臣表彰 友野浄二 ((株)トモノ)

② 埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰受賞者

ア 功労者知事表彰

福田寛栄 ((株)アルファサポート)

イ 優良従事者環境部長表彰

増田邦明 (野崎興業(株))

山崎 操 (クリーンシステム(株))

③ 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰受賞者

ア 功労者表彰

松澤敏也 ((株)ショーモン)

イ 地方功労者表彰

八木三郎 ((株)エコ計画)

宮田仁史 ((株)ケイ・エム環境)

山口能弘 ((株)山口組)

ウ 地方優良事業所表彰

(株)大場組

(株)上武

(株)ビクトリー

エ 優良従事者表彰

戸田 登 (東武商事(株))

西川 昇 (クリーンシステム(株))

栞田 明 ((有)丸新)

④ 一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰受賞者

ア 優良従業員表彰

佐藤一郎 (野崎興業(株))

根本 充 (野崎興業(株))

小峰晃司 ((株)協和清掃運輸)

木下 実 ((株)協和清掃運輸)

岡田貴幸 (東武商事(株))

町田幸弘 (東武商事(株))

平井裕一 (東武商事(株))

後藤智宏 (石坂産業(株))

落合和夫 (石坂産業(株))
黒澤貴紀 (亀井産業(株))
福島守男 (亀井産業(株))
村武宏紀 ((株)タカヤマ)

Ⅲ 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

(1) けやき積立金の運営・管理 (R 6. 3. 3 1日現在)

廃棄物の山の撤去等による生活環境の原状回復・保全事業の推進に活用することを目的に、「さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)運営委員会」において運営・管理されている「けやき積立金」の、令和5年度における収支は次のとおりである。

1) 令和5年度けやき積立金会計

① 収入の部

ア 埼玉県補填金	0円
イ 市長村補填金	0円
ウ 市長村分担金	0円
エ 協会からの繰入金	100,000円
オ 雑収入	199円
収入合計	100,199円

② 支出の部

撤去対策事業費	0円
---------	----

③ 令和5年度収支差額 100,199円

④ 令和5年度末積立金残額 513,596,551円

2) 運営委員会の開催

第1回

- ・開催 令和6年2月27日
- ・議事 坂戸市森戸地内の放置事案改善事業について
けやき積立金500万円を取崩して事業を行うことを承認

3) 関係業者選定委員会の開催

第1回

- ・開催 令和6年2月27日
- ・議事 坂戸市森戸地内の放置事案改善事業について

第2回(書面開催)

- ・開催 令和6年3月18日
- ・議事 坂戸市森戸地内の放置事案改善事業について

4) 放置事案改善事業

委託業者 (株)木下フレンド

事業実施期間 令和6年3月25日から3月30日まで

※けやき積立金の取崩し(委託料の支出)は令和6年度の予定

(2) 不法投棄等不適正処理廃棄物対策

実績なし

IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

令和5年6月30日に関東地域協議会において、「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互支援に関する協定」を締結し、大災害時の広域的な応援体制を整えた。

また、8月には当協会8つ目の事業委員会として「災害対応事業委員会」を新設し、災害廃棄物処理体制を強化した。

V 地方公共団体等からの受託事業

埼玉県からの受託業務として、「県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度に基づく申請書類の審査・受理」及び「産業廃棄物適正処理に関連した実務担当者向けの法制度等の研修会」を実施した。

(1) 県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度受付事務

1) 受託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

2) 事前協議等受理件数

① 事前協議等受理件数	399件	(令和4年度実績)	316件)
② 一括協議書受理件数	1件	(令和4年度実績)	1件)
③ 変更届受付件数	1件	(令和4年度実績)	0件)
④ 特例適用届出書受付件数	85件	(令和4年度実績)	115件)
合計件数	486件	(令和4年度実績)	432件)
⑤ 実績報告書受付件数	3,912件	(令和4年度実績)	3,694件)
⑥ 処理業者紹介件数	642件		

(2) 実務担当者研修会の実施 受講者合計557名

- 1) 法律研修コース（排出事業者用） オンライン実施
受講者102名
講師 坂本啓多郎氏（日本産業廃棄物処理振興センター講師）
- 2) 法律研修コース（処理業者用） オンライン実施
受講者88名
講師 保科弘氏（日本産業廃棄物処理振興センター講師）
- 3) 廃棄物処理研修コース オンライン実施
受講者100名
講師 藤井重雄氏（日本産業廃棄物処理振興センター講師）
- 4) 安全衛生・事業場管理研修コース オンライン実施
受講者81名
講師 熊江隆氏（日本産業廃棄物処理振興センター講師）
- 5) 新規廃棄物処理業職員フォローアップ研修コース（環境産業合同研修会）
令和6年2月26日 オンライン実施
受講者27名
講師 (株)インソース
- 6) 電子マニフェスト研修コース（排出事業者用） オンライン実施
受講者109名
ナレーション 吉田名保美氏
- 7) 電子マニフェスト研修コース（処理業者用） オンライン実施
受講者50名
ナレーション 吉田名保美氏

VI その他の重要事項

「令和6年度埼玉県への施策並びに予算編成に対する要望書」を自由民主党埼玉県支部連合会に提出（令和5年9月15日）

要望事項及び対応状況

（1）県が造成する産業団地への産業廃棄物処理業者の立地について

対応状況 今後新規事業化する地区においては、地区計画の策定者である地元市町村と調整し、検討を進めてまいります。（企業局）

（2）産業廃棄物処理業許可申請に添付する講習会修了証の有効期間を5年とすることについて

対応状況 有効期限を5年間としている自治体の状況、国や近隣自治体の意向を確認するなど、見直しの可能性も含め、情報収集に努めてまいります。（環境部）

（3）産業廃棄物処理業の環境産業へのステージアップ事業の充実について

対応状況 産業廃棄物処理業が「環境産業」へとステージアップしていくため引き続き様々な取組に努めてまいります。（環境部）

（4）埼玉県サーキュラーエコノミー型ビジネス創出事業について

対応状況 埼玉県サーキュラーエコノミー型ビジネス創出事業補助金の公募を令和5年度より長い期間を確保することで、新規事業者が参入できるようにしてまいります。

廃棄物か有価物かの判断につきましては、廃棄物の総合判断説に基づき各種判断要素を慎重に検討してまいります。

廃棄物を対象とする補助事業につきましては、廃棄物処理法に基づく許可取得などを要件に追加する要綱等の改正を検討してまいります。（環境部）